

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	020 点検マニュアルの運用									
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費					担当部課 係名	財務部公共資産利活用推進課			
市長公約										
戦略プラン	Ⅱ-4	1	1	点検マニュアルの運用による着実な点検及			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～						事業期間	毎年度		
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）						SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設の予防保全により、維持管理・更新費の財政負担を縮減する。
概要 (取組内容)	施設所管課等の担当者が「公共施設自主点検マニュアル」による点検を実施し、劣化の兆候や不具合箇所が判明した場合は、早期の段階で修繕や改修を行い、大規模修繕を未然に防止する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,108	5,180	5,419	5,180	5,180
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	修繕未実施期間 (年)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	22.0	21.0	17.0	13.0	9.0	5.0
	実績	22.0	6.0	5.0	2.0	7.0	2.0
	指標の概要	(Ⅱ-4-①公共施設・インフラの効果的な維持管理の推進) 自主点検などの予防保全により必要な不具合箇所に対する修繕未実施期間を短縮する。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		公共施設マネジメント推進会議において年2回以上の自主点検実施の依頼や、施設所管部署が対象の施設管理会議では公共施設マネジメントシステム及び公共施設自主点検マニュアル（特に劣化度・優先度の判定基準の活用）についての説明を行った。
成果		「公共施設自主点検マニュアル」による点検実施を更に定着させるとともに、点検結果による劣化度・優先度の判定基準が活用されるよう施設所管部署の担当者に会議等で周知を図り、点検結果が公共施設マネジメントシステムへ入力された。
課題	業務	自主点検関係では、自主点検の実施状況や劣化度・優先度判定基準の活用状況を把握することや、施設所管部署の担当者が更に適切な維持管理ができるよう工夫する必要がある。また、公共施設データベース（公共施設マネジメントシステム）関係では、入力徹底等により情報の正確性向上を図ることが必要である
	組織、予算等	
改善目標		自主点検の実施状況や劣化度・優先度判定基準の活用状況等を把握するための庁内調査を行うとともに、自主点検マニュアルの改定を検討する。引き続き年2回以上の自主点検実施の依頼をする。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	121 公共施設マネジメント推進事業									
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費					担当部課	財務部公共資産利活用推進課			
市長公約	75								係名	
戦略プラン	Ⅱ-4	1	3	点検結果による劣化度・優先度の判定手法			新規・継続	継続		
	Ⅱ-4	1	4	公共施設及びインフラに関する情報の集約			事業分類	自治事務（任意）		
	Ⅱ-4	4	1	新技術等の現場実装の促進			事業体制	職員のみ		
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～						事業期間	毎年度		
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）						SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	市民、市職員									
目的	公共施設の最適化による経営の効率化									
概要 (取組内容)	市民が安全で快適に利用できるよう公共施設を適切に管理し、保有資産の効率的な維持管理、有効活用、資産の保有量の適正化を図るため、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき取組を推進する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,928	2,921	2,919	2,919	2,919	
	決算額	(千円)	2,848	2,852	2,806	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,848	2,852	2,806	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,136	5,265	5,686	5,423	5,423	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	11.25	34.80	107.25	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	個別施設計画策定数 (計画)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
	実績	5.0	9.0	11.0	14.0	15.0	18.0
	指標の概要	(Ⅱ-4-①公共施設・インフラの効率的な維持管理の推進) 各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」の数					

2	指標名	先端技術等導入の方針を含む個別施設計画策定数 (計画)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
	実績	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	指標の概要	(Ⅱ-4-④公共施設やインフラ管理への先端技術等の導入)各施設所管等が策定する「個別施設計画(長寿命化計画)」のうち、先端技術等導入の方針を含む計画の数 ※内訳「つくば市学校施設長寿命化計画」					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		公共施設マネジメント推進会議において、「つくば市公共施設等総合管理計画」に係る各種指針の整理や公共施設マネジメントに係る今後の取組の方向性を見直した。
成果		公民連携により民間事業者のアイデアや資産をいかすため、保有資産の有効活用の基本的な事務手続を示した「つくば市公共施設等に係る民間提案受付手続きの指針」を策定した。各施設所管部署が策定する個別施設計画については、「個別施設計画策定ガイドライン」を活用した策定の支援を行い、3計画が策定され累計18計画が策定済みとなった。
課題	業務	これまで施設の長寿命化を柱として取組を進めてきたが、今後はユニバーサルデザイン、バリアフリーや施設の複合化や適正配置、公民連携など、質は保ちつつ行政サービスを維持し続けるための取組をバランスよく進めていくことが課題である。
	組織、予算等	個別施設計画に位置付けられている長寿命化改修等が、今後、集中的に実施される予定となっているため、必要な財源をどのように確保していくか、または財源が確保できない場合の対応を検討する必要がある。
改善目標		令和7～8年度の2か年でつくば市公共施設等総合管理計画の改定等を行い課題解決を図り、公共施設全体でのより適切で持続可能な公共施設マネジメントに変える。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	022 市民ニーズに合った利用促進策の検討									
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費					担当部課 係名	財務部公共資産利活用推進課			
市長公約										
戦略プラン	Ⅱ-4	2	1	市民ニーズに合った利用促進策の検討			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～					事業期間	毎年度			
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市職員
目的	社会情勢や市民ニーズに応じた快適で魅力ある公共施設を整備する。
概要 (取組内容)	環境への配慮、防災機能の強化、ユニバーサルデザインの導入等の社会情勢や市民ニーズに応じた施設機能の充実を推進する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,108	5,180	5,419	5,180	5,180
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	施設稼働率（平均）（ % ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	37.0	37.7	38.5	39.2	40.0	40.7
	実績	37.0	34.3	38.5	59.1	66.1	0.0
	指標の概要	（Ⅱ-4-②保有資産の有効活動の推進）各施設の平均稼働率 ※6/18時点集計中（7月中に確定予定）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		施設所管部署が個別施設計画を策定する際、ユニバーサルデザイン化や省エネ等の様々な市民ニーズに配慮した計画を策定するよう支援を行った。
成果		公共施設バリアフリー化整備方針の策定に向け、障害者、高齢者等の団体代表者や有識者と公共施設点検や意見交換会を実施し、方針に掲載予定のバリアフリー課題の解決策に係る意見が得られた。
課題	業務	公共施設バリアフリー化整備方針の策定に向けて、施設担当者にバリアフリー整備の配慮事項を分かりやすく示すことや、方針が十分に活用されるようにどのように周知していくかが課題となる
	組織、予算等	
改善目標		公共施設バリアフリー化整備方針の策定に向けて、引き続き、障害者、高齢者等の団体代表者や有識者と意見交換会等を実施するとともに、施設所管部署とも意見交換する。また、方針の策定段階においても会議等で庁内周知を図ることに加え、策定時には庁外にも周知する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	530 公有地利活用推進事業										
予算科目	01-080401-21 公有地利活用推進に要する経費					担当部課	財務部公共資産利活用推進課				
市長公約	19		86-1		89, 92	94, 98	96-1	係名	事業調整・管理係		
戦略プラン	Ⅱ-4	2	4	公有財産の有効活用			新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画							事業期間	毎年度		
根拠法令等								SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	市民（特に公有地の周辺住民）									
目的	未利用の公有地について、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとに、これまでの経緯、現状、地域の意向等を踏まえ、公的利活用、地域利活用、民間利活用を検討し、有効な利活用を図る。									
概要 （取組内容）	公有地利活用を進めるうえで必要な情報や課題について関係部署間で共有を図る。 未利用地の利活用について、地元住民や民間事業者等の意向を把握し、利活用に向けた検討を行う。 利活用が決定した跡地について、利活用が円滑に進むように地元住民や事業主体等と協議・調整を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	10,268	3,444	7,881	26,533	401,600	
	決算額	(千円)	25,693	3,661	9,268	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	25,693	3,661	9,268	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	28,218	20,733	14,769	14,124	14,124	
	内訳	正職員従事割合	(人)	4.00	3.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	400.00	5.00	128.00	128.00	128.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ掲載、広報誌掲載
企画・立案、計画	意見交換会の実施（谷田部庁舎跡地、筑波第一小学校跡地）
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	利活用方針が決まった施設数（施設）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6. 0	9. 0	11. 0	13. 0	14. 0	15. 0
	実績	5. 0	6. 0	10. 0	12. 0	11. 0	11. 0
	指標の概要	（個別施策Ⅱ-4-②保有資産の有効活動の推進）施設ごとに公有地利活用方策を検討し、利活用方針が決まった施設数を評価指標とする。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		学校跡地は未耐震建物の解体を前提に利活用を検討していく方針を決めた。谷田部庁舎跡地は周辺公共施設と連携した地域に開かれた新しい学校施設のあり方のモデルを検討した。春日消防本部跡地は利活用方針を検討するための庁内アンケートを実施した。
成果		・筑波第一小学校跡地の未耐震校舎等を解体するため、令和7年度に解体設計費用を計上した。 - また、校舎解体を前提とした土地利用の検討について、地元住民等との意見交換会を行った。 ・谷田部庁舎跡地は新しい学校施設のあり方を検討し、令和7年度に基本構想策定を行うことになった。 ・春日消防本部跡地は周辺の大規模開発が決まってから長期の利活用検討を進めることになった。
課題	業務	・作岡小学校跡地の令和8年度までのPCB含有物処分に伴い、施設の閉鎖と委託業務の見直しが必要。 ・今後、廃止となった公共施設が公共資産利活用推進課に多数所管替えとなることが想定され、維持管理及び利活用検討の業務量増加への対応が必要
	組織、予算等	・未耐震施設解体のための設計および工事費の予算確保 ・所管施設の増加に対応するための人員確保
改善目標		・筑波第一小学校跡地は意見交換会、市場調査等により、利活用方針を決定する。 ・令和7年度から8年度に谷田部小及び周辺公共施設の複合施設についての基本構想を策定する。 ・春日消防本部跡地の暫定利用及び長期利活用の検討の進め方を決定する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	031 施設整備事業の複合化・集約化指針の作成									
予算科目	01-020107-18 公共施設マネジメントに要する経費					担当部課 係名	財務部公共資産利活用推進課			
市長公約										
戦略プラン	Ⅱ-4	3	1	施設の複合化・集約化指針の作成			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～					事業期間	毎年度			
根拠法令等	インフラ長寿命化基本計画（国土交通省）					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設の最適化による経営の効率化
概要 (取組内容)	各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」において、各施設のあり方や必要性について、人口動向や社会情勢の変化等を踏まえ、市民ニーズや費用対効果などの面から総合的に評価を行い、必要なサービスや施設機能を確保しつつ、集約化・複合化による施設整備を推進する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,108	5,180	5,419	5,180	5,180
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	複合化・集約化の方針を含む個別施設計画策定数 (計画)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
	実績	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	指標の概要	(Ⅱ-4-③保有資産の適正化) 各施設所管等が策定する「個別施設計画（長寿命化計画）」のうち、複合化・集約化の方針を含む計画の数 ※内訳「つくば文化会館アルス長寿命化計画」					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		公共施設マネジメント推進会議において、施設整備における適正配置、集積化・複合化の必要性や考え方を整理した。
成果		学校施設や公共施設跡地等を軸に適正配置、集積化・複合化を検討する考え方を整理し、令和7年1月に「個別施設計画策定ガイドライン」に追記した。
課題	業務	施設の複合化や集積化等の具体的な進め方を整理することが必要である。また、施設の複合化や集積化等は施設所管部署や市民へ影響があるため、説明や合意形成の方法を工夫する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標		施設の複合化や集積化等の取組を進めるため、令和7年度は主に現在保有している公共施設のあり方（総量や分布等）を施設所管部署と連携して検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－